

東北復興水産加工品展示商談会 2015

セミナー部門の概要

1. 開催日時

平成 27 年 6 月 16 日（火）～17 日（水） 2 日間

※日時など記載がなされていないものについては現在調整中です。

2. 開催場所

仙台国際センター展示棟内

3. 実施概要…

①タイトル：「震災から 4 年～販路回復のための方策」フォーラム

日時：6 月 16 日 10:40～11:30

場所：プレゼンステージ A

司会：山下東子（水産政策審議会会長・大東文化大学教授：確認中）

パネリスト（候補/順不同）

：菅原茂（気仙沼市市長）

中山嘉昭（全水加工連会長）

野崎哲（福島県漁連会長）他

内容…震災から現在に至るまでの経緯について振り返ってもらい、現状の問題点である販路回復のために何が必要かについて前向きな意見を述べる。

②タイトル：「海外輸出による販路拡大とその課題（仮題）」

パネルディスカッション

日時：6 月 16 日 12:00～13:40

場所：プレゼンステージ A

司会：寺田佳宏 日本貿易振興機構地域統括センター長（東北）兼仙台貿易情報センター所長

パネリスト（候補/順不同）

：シンガポール、台湾、タイ、アメリカの水産物取り扱いバイヤー

内容…海外消費者のニーズ等、今後輸出に取り組む上で水産加工業者等が把握しておくべきポイント等について意見を述べる。

現在の海外各国における水産物の消費動向、及び現地での日本水産物の流通状況（日本水産物を活用したビジネス事例を含む）について説明した後、日本水産物の輸入について輸入国側（各種規制他）の立場からの問題点、および輸出国である日本側に対する要望点（コミュニケーション、相場、サイズアソート、原料事情の問題等）についてそれぞれ提議し、それらを纏める形で日本水産物の輸出促進へのアプローチ方法を探る。

③タイトル：「水産加工品の販路回復・開拓に関するパネルディスカッション（仮題）」

パネリスト：被災地の生産者
（候補者） 〃 流通関係者
復興水産販路回復アドバイザー

内容：水産加工品の販路回復・開拓について、生産側、流通側、復興支援アドバイザーの各分野のパネリストによるパネルディスカッションを行う。
具体的には、流通側からは消費者の関心を得るために必要な取組について、生産側からは先進的な取組等について発言して頂く。また、復興アドバイザーからは、アドバイスにより販路が開拓できた事例の紹介や、問題点の指摘及び解決の方向性、復興水産加工業販路回復促進事業の活用について発言して頂いた後、自由討議を行う。

④タイトル：「通信販売～お客様に買ってもらえる商品を作る 3つのポイント（仮題）」（全水加工連）

日時：6月16日 15：00～16：00（予定）

場所：プレゼンステージB

講師：小川徳一郎氏（小川マーケティング事務所代表）

内容：マーケティングをベースとした、顧客ニーズに合致した商品の開発のノウハウと、その商品のPR方法（インターネット・SNS）についての講義・セミナー。

⑤タイトル「ハラルセミナー・インバウンドマーケットの販路開拓（仮題）」

日時：6月17日 13：00～14：00（予定）

場所：プレゼンステージB

講師：佐久間朋宏氏（一般社団法人ハラル・ジャパン協会代表・調整中）

内容：年々増加を続けるイスラム圏からの訪日外国人観光客向けのインバウンドマーケットを販売機会と捉えた、販路拡大のノウハウに関するセミナー。

⑥「石巻における放射能測定の取り組みについて」

日時：6月16日① 14：00～14：30、17日② 12：00～12：30（①②とも予定）

場所：①プレゼンステージB、②プレゼンステージA

講師：石巻魚市場株式会社 代表取締役社長 須能邦雄

内容：震災後石巻魚市場が、競り前の選抜放射能検査および入札前の検査結果公表の実施による安全な水産物を流通させるシステムへの取組についてプレゼンを行う。

このほかに、全国漁業協同組合連合会による東北地区のプライドフィッシュを紹介するコーナー、および出展者による自社商品のプチ・プレゼンも開催予定。